

# 振興策 県と連携

## 首相補佐官、知事に意向

仲井真弘多知事は19日、

長島昭久首相補佐官と県庁で会談した。長島氏は、復帰40周年に向けて政府が沖繩振興のプロジェクトを検討しているとし、県側との連携を密に協議していきたい意向を伝えた。会談後、知事は記者団に「沖繩振興についていろんな話があるぞうだ。ただ中身をもう少し詰めたものを伺わないと分かりにくい」と述べた。

長島氏は記者団に「(政府として)準備しているものがある。(3月末に成立した)振興2法を受けた県の取り組みを聞き、私どもが考えていることと擦り合わせをしよう」と話をした

と述べた。

会談に同席した上原良幸副知事は「県が求めるもの

で、沖繩の将来に有用なものを、これまでの経験を踏まえて官邸で取り組んでほしい」と要望した。

米軍再編見直しについては仲井真知事が「振興の)予算や法律の面では沖繩に配慮してもらい感謝するが

基地負担軽減はまだまだ。日米協議で成果を出してほしい」とし、普天間飛行場の県外移設をあらためて表明。長島氏は「普天間は固定化させないよう一生懸命取り組む」と応じた。

沖繩タイムス 平成24年4月20日朝刊